

# 大学の世界展開力強化事業 取組概要 北海道大学

【構想の名称】(選定年度24年度・申請区分(I))

人口・活動・資源・環境の負の連環を転換させるフロンティア人材育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

ASEAN地域における人口・活動・資源・環境(PARE: Populations-Activities-Resources-Environments)の負の連環の解決のフロンティアを担う人材育成のため、インドネシア、タイの6パートナー大学との国際連携教育システムの構築を図ることを目的とする。PAREの負の連環の解決に必要な不可欠な能力として定義した4つの力(フィールド研究力、多様性容認力、開拓力及び課題解決力)を備え、ASEAN地域の発展に主導的な役割を担うことのできる人材を養成する。

【構想の概要】

インドネシア、タイの6パートナー大学とのPARE大学院教育コンソーシアムにおける協働教育を通じて、分野横断的教育の質の保証、フィールドとラボの教育連携モデルの形成及び異分野専門家集団PARE同窓生ネットワークの形成を促し、もってアジアのフィールドにおいて同地域の発展に資する人材の輩出及びネットワーク形成を図る。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

- 国際運営委員会、国内運営委員会及び教育コンテンツ委員会を設置した。これら委員会の枠組みを通じて、プログラムの運営体制を確立するとともに、教育プログラムの実施体制・内容について方針を決定した。
- 平成25年3月に国際運営委員会メンバーによるファカルティ・ディベロプメント(FD)ワークショップを開催。本プログラムの質の向上に関して、議論を行った。



〈国際運営委員会〉

## ■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

- 平成24年度実施の交流プログラムの内容  
準備フェーズとして、平成25年1月から4月にかけて、パートナー大学との間で学生の派遣・受入を試行的に実施。4月20日および5月7日の2回に分けて派遣学生の帰国報告会を開催し、学生にPAREプログラム参加証を授与。



〈FDワークショップ〉

- 平成25年度本格稼働に向けた準備状況  
・本学におけるサマースクールの開催(平成25年8月15日～27日)に向け、国際運営委員会等において、プログラムの内容及び募集スケジュール等を協議・決定し、人選を開始。  
・インドネシア、タイの6パートナー大学との間のセメスター単位での学生相互受入・派遣についても、国際運営委員会等で協議し、人選を開始。  
・平成26年3月に、カセサート大学(タイ)でスプリングスクールを開催する準備を開始。



〈平成24年度派遣学生報告会〉



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

サマースクールおよびスプリングスクールにおける英語でのグループ討論、留学先のパートナー校が提供する講義科目の受講及び派遣先でのフィールドワークの実施

### ○ 外国人留学生の受入れ

サマースクールでのグループ討論、本学において提供する科目の受講及び本学の優れた研究環境における研究の実施

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	17	30	30	30	30
学生の受入	18	30	30	30	30

注)H24は実績、H25以降は計画

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

- 北大内に設置するセントラルオフィス及び各提携大学に設置するリエゾンデスクにおいて留学中の北大学生・提携先からの留学生に対する学修・生活等に関するワンストップサービスを提供
- 今後、各種就職支援プログラムの提供(企業の採用担当者との意見交換会、北大国際戦略説明会(仮称)等の開催)を検討

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ○ 教育内容の可視化

本構想のプログラム履修ガイドについては、本プログラムのウェブサイト(<http://www.4pare.org/>)で公開を予定。

事業の進捗状況については、本学ウェブサイト上(<http://www.hokudai.ac.jp/international3/ryugaku/pare/view/>)で公開している他、ブログでも公開中(<http://pareproject.blogspot.jp/>)。

### ○ 成果の普及

今後、本構想により確立された国際連携教育システムをモデルケースとして全学で共有し、かつ他の分野、他の地域との同種の取り組みに活用・展開する予定。